

2019年度QIプロジェクト 結果報告

QIプロジェクトについて

日本病院会が主催するQIプロジェクトは、医療の質を測定、評価、公表することで自病院の医療の質を継続的に向上する役割を担っております。

各項目の算出方法、より詳細な情報についてはこちらのホームページを参照ください。

<https://www.hospital.or.jp/qip2019>

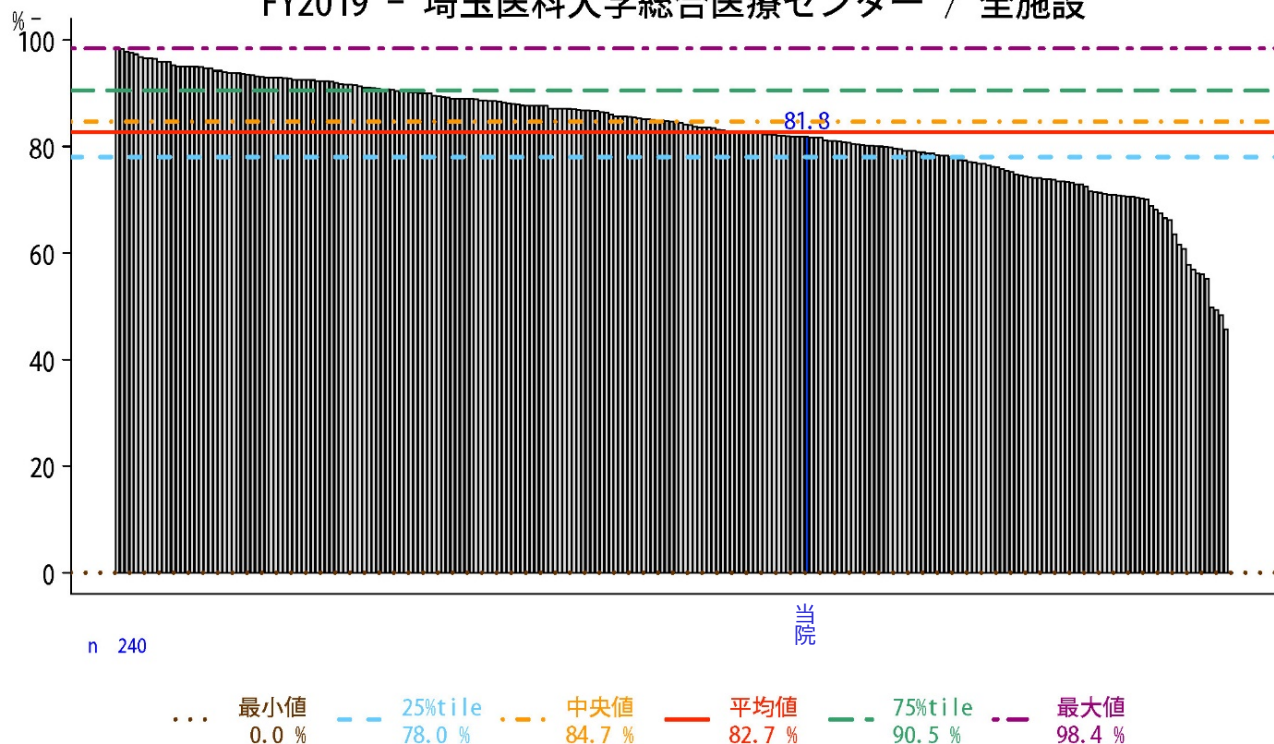
外来患者満足度調査

一般-1-b 患者満足度（外来患者） 満足またはやや満足

分子：「満足」または「やや満足」と回答した外来患者数

分母：外来患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数

FY2019 - 埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



外来患者さんの満足度は外来診療の質を測る上で大切な指標となります。「満足、やや満足、どちらともいえない、やや不満、不満」の5段階評価のうち「満足またはやや満足」とお答えいただいた外来患者さんの割合を表しております。

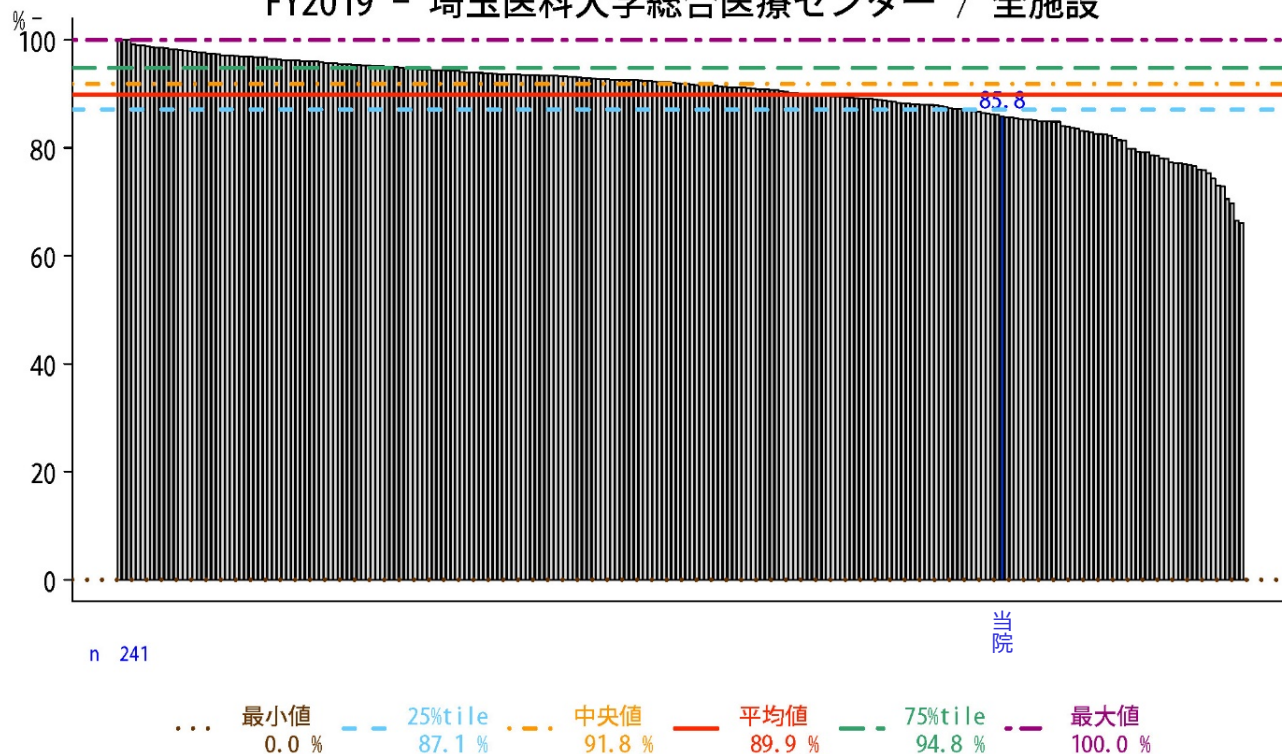
入院患者満足度調査

一般-2-b 患者満足度（入院患者） 満足またはやや満足

分子：「満足」または「やや満足」と回答した入院患者数

分母：入院患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数

FY2019 - 埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



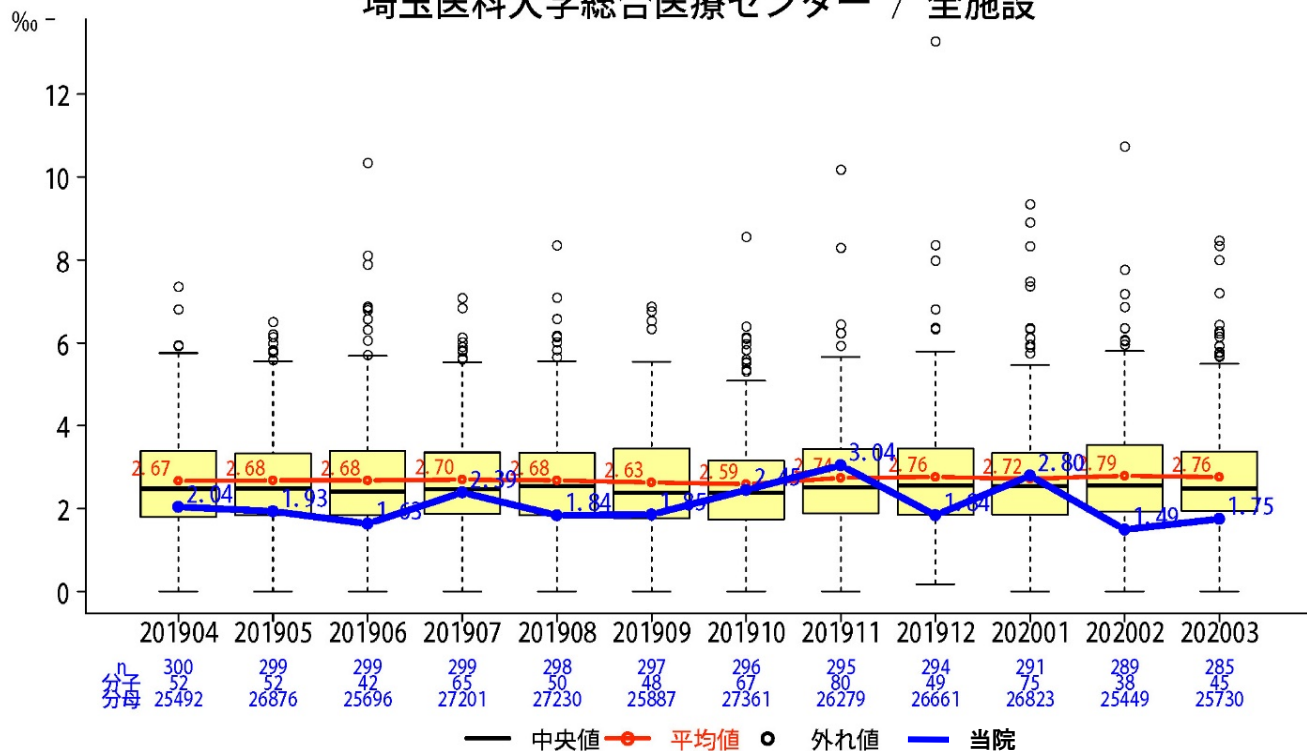
入院患者さんの満足度は入院診療の質を測る上で大切な指標となります。「満足、やや満足、どちらともいえない、やや不満、不満」の5段階評価のうち「満足またはやや満足」とお答えいただいた入院患者さんの割合を表しております。

入院患者の転倒・転落発生率

一般-4-a 入院患者の転倒・転落発生率

分子: 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数
分母: 入院延べ患者数

埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

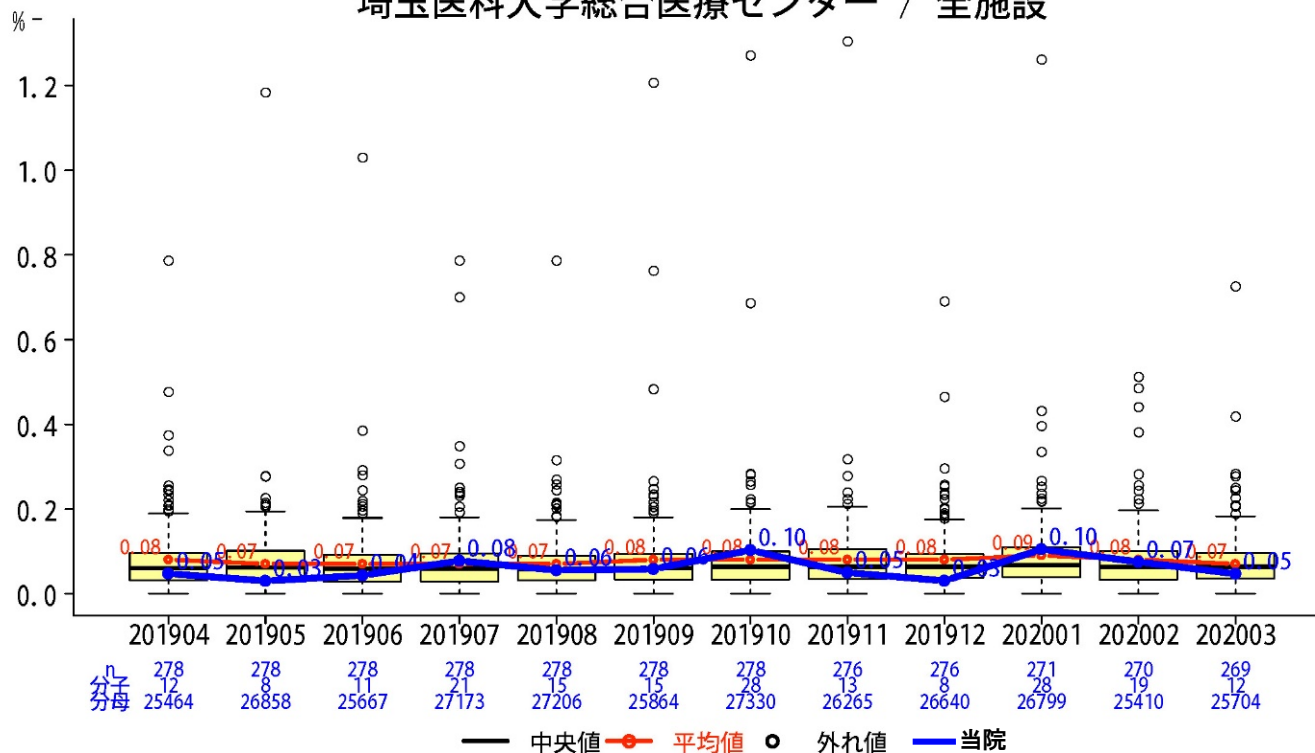
上記のデータは入院後に転倒・転落のあった患者さんの割合を表しております。

褥瘡発生率

一般-5 褥瘡発生率

分子: 調査期間における分母対象患者のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数
分母: 入院延べ患者数

埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



褥瘡(床ずれ)は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。
上記のデータは入院後に褥瘡が発生した患者さんの割合を表しております。

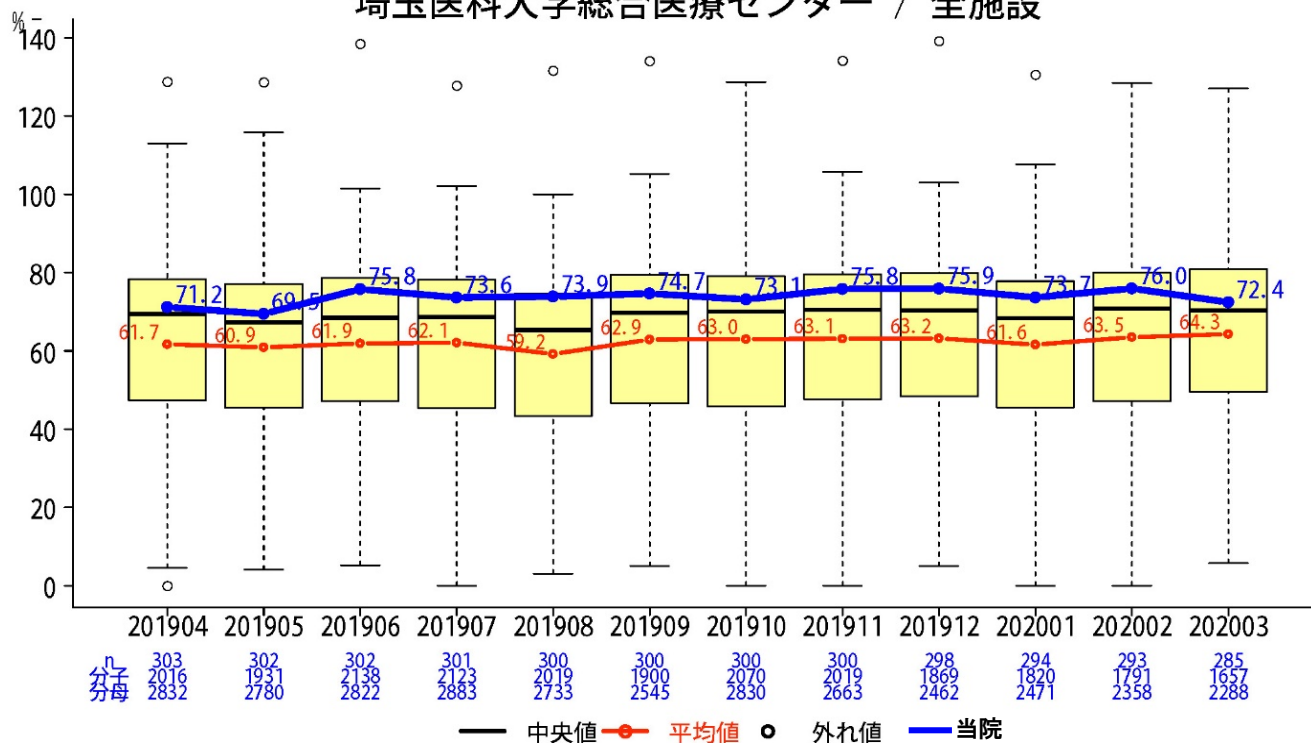
紹介率

一般-6 紹介率

分子:紹介初診患者数

分母:初診患者数－(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数＋休日・夜間の初診救急患者数)

埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



紹介率とは、初診患者の中でも、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合です。

様々な疾患の診察ができる、もしくはより高度な医療を提供しているという指標になります。

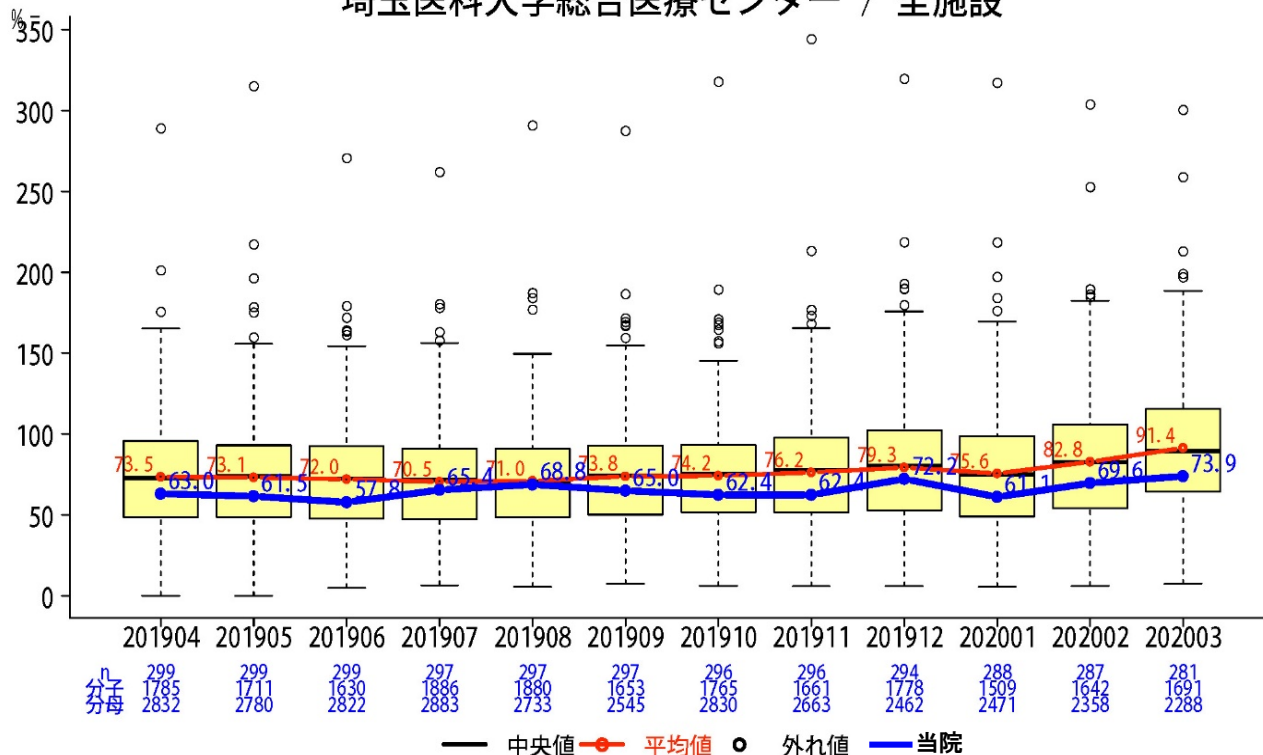
逆紹介率

一般-7 逆紹介率

分子:逆紹介患者数

分母:初診患者数－（休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数＋休日・夜間の初診救急患者数）

埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



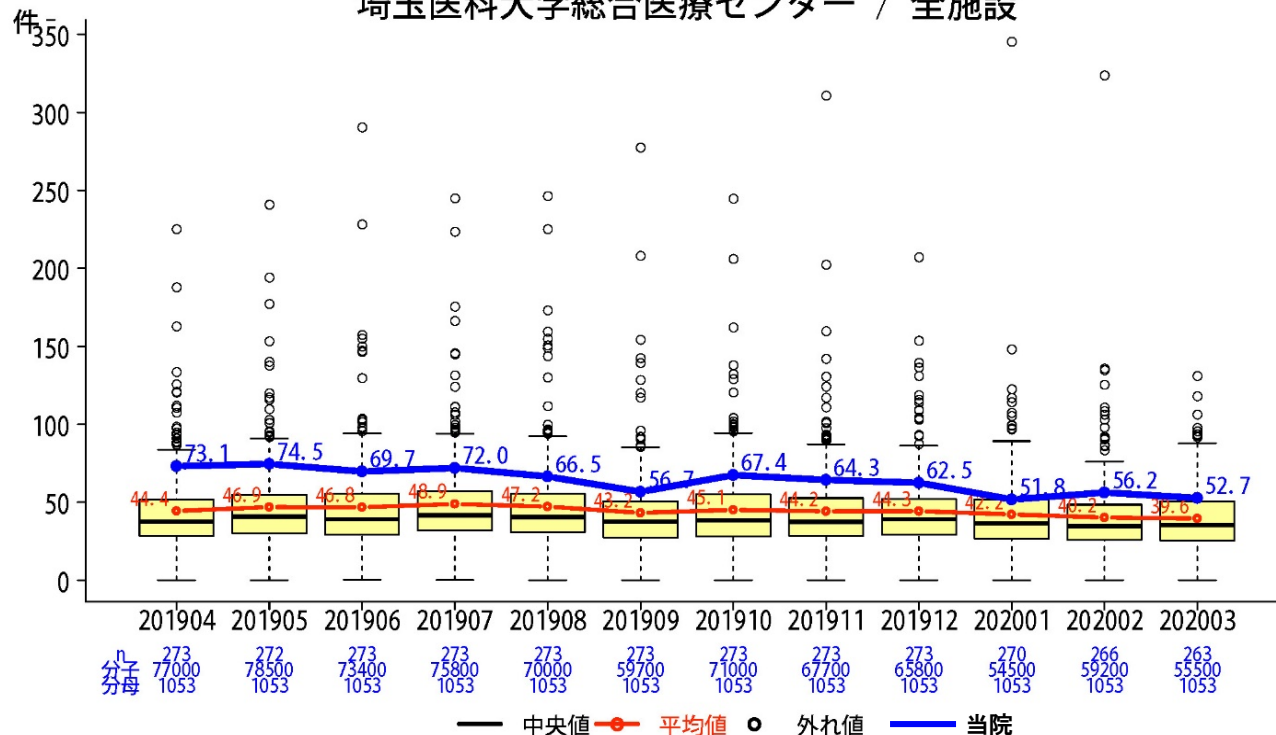
逆紹介率とは、当院から他の医療機関へ紹介した患者さんの割合です。地域の医療連携を強化することにより、切れ目のない医療の提供を行うことができます。紹介率・逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の度合いを示す指標です。

インシデント・アクシデント発生件数

一般-33-a 1か月間・100床当たりのインシデント・アクシデント発生件数

分子: 調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数×100
分母: 許可病床数

埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



インシデント・アクシデント(トラブルが発生するおそれのあるもの)が生じてしまった場合、原因を調査し、防止策をとることが重要です。

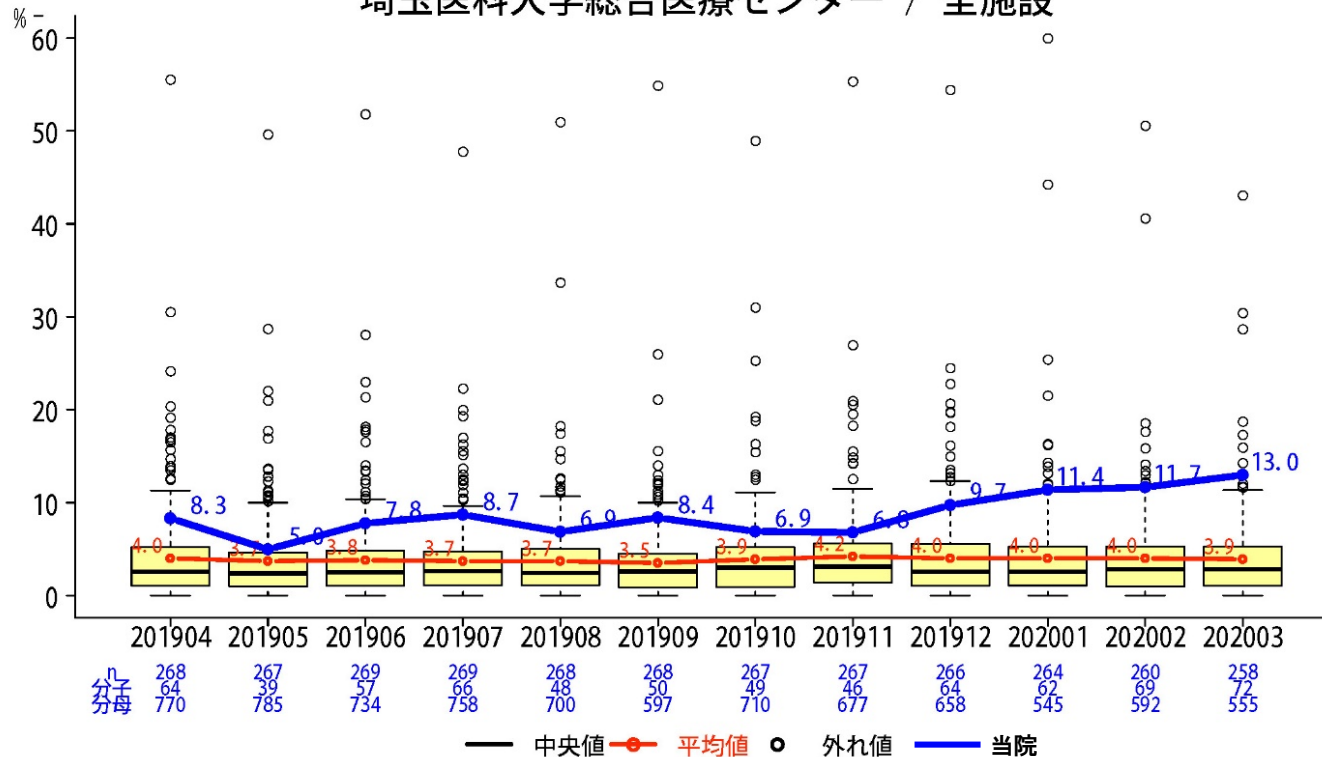
本指標はインシデント・アクシデントがしっかりと報告される体制が構築されているかを測るための項目です。

医師によるインシデント・アクシデント報告

一般-33-b 全報告中医師による報告の占める割合

分子:分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数
分母:調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント報告総件数

埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



医師は多忙であるため、インシデント・アクシデントの報告が少ない傾向にあります。

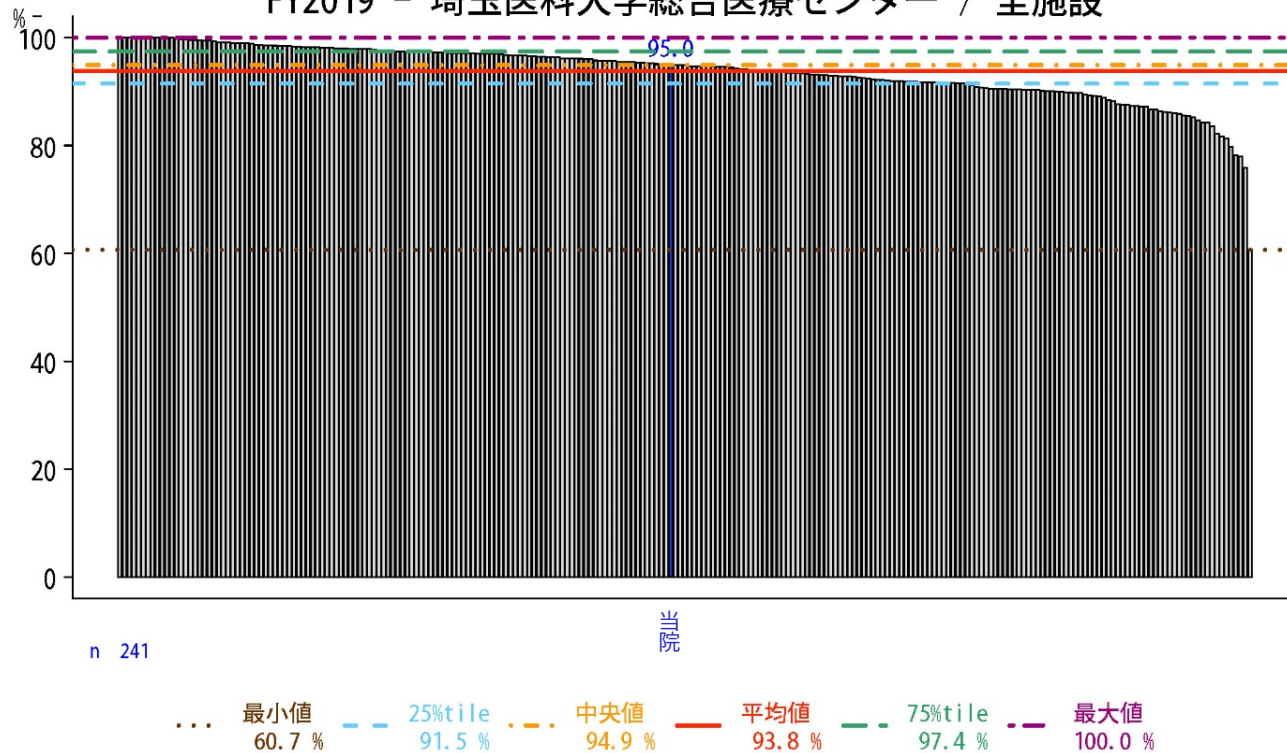
医師からの報告件数の多さは医師を含めたすべての病院職員の医療安全意識が高い病院であるといえます。

職員のインフルエンザワクチン予防接種率

一般-34 職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

分子:インフルエンザワクチンを予防接種した職員数
分母:職員数

FY2019 - 埼玉医科大学総合医療センター / 全施設



患者さんは免疫力が低下していることが多いため院内感染や職員からの感染が起きやすくなります。

インフルエンザの予防接種率が高い場合、職員が院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価できます。